

非住宅建築における 環境デザインの現状とこれから

世界的に気候変動対策やエネルギー政策の転換が進む中、日本における建築物の環境は配慮や省エネルギー基準は国際的にも高いとは言えない状態です。その中でも性能向上や快適性・健康への関心が高まる戸建住宅分野に比べ、オフィスビルや学校など非住宅建築の分野では1つの建物で大きな効果が見込めるにも関わらず、環境デザインやエ省エネルギー対策への関心は低い状態です。

そういった現状を踏まえ、本シンポジウムでは非住宅建築分野に焦点を当て、日本とドイツの事例を比較しながら、実際に設計に携わる意匠・設備設計者が、現状分析や課題を整理し、非住宅建築における環境デザインの現状とこれからの皆さんと一緒に探っていきます。



ドイツ・ベルリン在住。1981年生まれ。法政大学大学院修了。建設会社設計部に5年間勤務した後2012年からドイツ・ベルリンに移住し、plajer & franz studioに勤務。大型の集合住宅や省エネ改修の設計を担当。

独立後、日独で建築設計に携わる傍ら、ドイツの環境配慮建築に関するリサーチ、講演、日経アーキテクチュアに執筆。

金田 真聡

EA partners
ASOBU GmbH 共同代表



環境エンジニアリング本部 エネルギーソリューション計画グループ主任。

1984年生まれ。東北大学大学院にて都市・建築学を専攻。2009年竹中工務店に入社。設備設計および設備施工管理を経験し、環境エンジニアリング本部にて環境コンサルティング、ZEBのコミッションニング、熱源更新計画立案などを担当。

粕谷 文

(株) 竹中工務店



大阪本店設計3部門1G。1989年生まれ。

東京大学大学院前研究室にてサステナブルデザインを学ぶ。

2016年竹中工務店に入社。建築設計としてオフィス・医療コンプレックスの設計を行う傍ら、様々な物件で環境建築の提案、コンサルティングを行う。

神戸 寛貴

(株) 竹中工務店

《内 要》

「意匠設計者から見た日本の非住宅建築の現状」 (神戸)

「設備設計者から見た日本の非住宅建築の現状」 (粕谷)

「ドイツの非住宅建築の現状」 (金田)

登壇者の発表後、聴講者も交えたパネルディスカッション

場 所：クラブヴォーバン セミナールーム (港区新橋2-5-6 大村ビル8F)

定 員：30名 申し込み要 (先着順)

参加費：法人・個人サポーター会員無料 (法人は3名まで)

※ 非サポーターは参加費 千円

2018年

7/11 (水)

18時半～20時

クラブヴォーバンポーター優先・要予約

定員 30名

■ 問い合わせ・連絡先・予約 ■

一般社団法人クラブヴォーバン

TEL 03-6205-4493

Email mail@club-vauban.net

※懇親会参加の有無もお知らせください



東京会場：「新橋」駅 徒歩2分
東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8階

クラブヴォーバンは、世界に先駆けて持続可能なまちづくりを行っているドイツの“ヴォーバン住宅地”を模範とし、日本国内で「持続可能な低炭素型のまちづくり」をめざす経営者や地方自治体・研究者・学生などあらゆる立場の人たちが学び集うためのネットワーク(場)です